

ちょっとヘンなばばちゃんのこと ③

私の母（通称 ばばちゃん）は、79歳 3年前は要支援 現在要介護2

ちょっと変なばばちゃんとの温泉旅行 続き



豪華な旅館に到着 夕飯の前にさっそく温泉。

ばばちゃんもかわいい柄の浴衣を選び楽しそう。

わたしが先に入り、滑らないように気をつけてねーなどと言いながら、振り向いたとき見付けてしまったΣ('●△●')??これなに??ちょっとこれヘンじゃない??ばばちゃんのおっぱいにエクボ??がある!

これはもしかして…嫌な予感しかしない…

温泉から上がって姉にも相談したけど、姉はピンときていない様子。

姉はそのことよりも母の言動や行動が気になったらしい

一般的な感覚で考えると、初めて滞在する客室でもどこにトイレがあるかだいたいの想像がつくし、一度、使えば、その場所を忘れることはない。そんなことは覚えることでもないけれど、ばばちゃんにはもうその能力がないようだ。トイレに案内して行ってもらおうと、今度はトイレのスリッパを履いたまま戻ってきた。一人で客室の外に出てしまったら部屋に戻ってこれないだろうから、いつも一緒に行動した。

お土産物屋で、「好きなものを買ったらいいよ」と言っても、何ひとつ選ぶことができなかった。細かいことだが、そんなことがいくつもあった。

ばばちゃんは旅を楽しめているのだろうか。

姉は「ばばちゃん、旅行楽しい?行きたいところはないの?」などと、すこしイラついた口調でばばちゃんに聞いたりしていました。ばばちゃんは微笑むだけ。

「もう考えられないんだよ。」と言いたかったけど、姉にそのことを言うのは旅行が終わってからにしようと、黙っていました。

この旅行中わたしといえば、ばばちゃんの行動や言動よりも、おっぱいのえくぼのことばかり頭から離れず、観光していても頭の隅で帰ったら病院に電話しないと、どこの病院にしようかなど、終始考えてしまいました。

すばらしいはずの景色もうわの空。豪華な旅館で美味しい料理を食べたはずだけど、広くて綺麗な温泉に入ったけど、そこからの景色が良いという案内があったけど、その景色はあまり覚えていない。

…つづく

ヘルパー N

きょうと福祉倶楽部での1年目

昨年の4月よりきょうと福祉倶楽部でお世話になっていますが、前の職場でもヘルパーをしていて沢山のご利用者を見てきました。ここでは一人暮らしで、要介護4や5の方でも家で過ごされている方が、何人もおられる事にびっくりしました。家で過ごされているから皆さん穏やかで、それに病院で入院されている時に、あまり長くない様に言われていた方が今でも元気に過ごされているのを見て、家で過ごす事はご利用者にとって一番安心できる思い出のある大切な場所であって、そこで生きていけるのは心身も安定して良い状態でいられるのが分かりました。

あと、私自身の家の事で今までずっと悩んでいて、これまでも色々な人に相談したりしたのですが全く解決できませんでした。ですがここでお世話になって解決方法を見つけて頂き、少しずつ良い方向に動き出したのが何より嬉しく思っております。その家の事情で長い間お世話になっていた老健より、母が最近帰ってきました。老健では特に問題なく、落ち着いて過ごしていたとの事でほっとしました。以前はあまり家にいても、家だと思っていない状態でしたが、やっぱり家にいると何となくゆったり穏やかな表情になっている気がします。そして私も娘達も、こちらで紹介して頂いたケアマネージャーさんに、今現在不安に思っている事を少しずつ解決してもらっているのも、今はとても安心して皆が過ごせているように思います。色々な面で助けて頂き感謝しております。これからどこまで頑張れるのか分かりませんが、同じように困っているひとがいたら少しでも何か助けられる存在になれるように頑張り思います。

ヘルパーS



有限会社 おとくに福祉研究所

きょうと福祉倶楽部

〒617-0824

長岡京市天神4丁目7-12 ハイツ東台101号

TEL 075-958-2560

FAX 075-957-2808

E-mail info@fukushi-club.com

きょうと福祉倶楽部ホームページ

